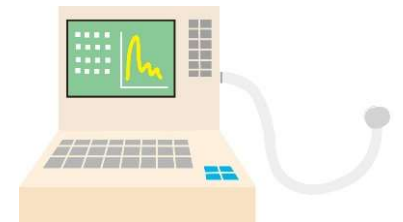


東京ガス(株)川崎支店 × 川崎市立病院 コラボレーション企画

誤解されやすい糖尿病 ～正しい情報を知るために～

神奈川県糖尿病協会 理事長
川崎市立川崎病院 糖尿病内科部長

津 村 和 大

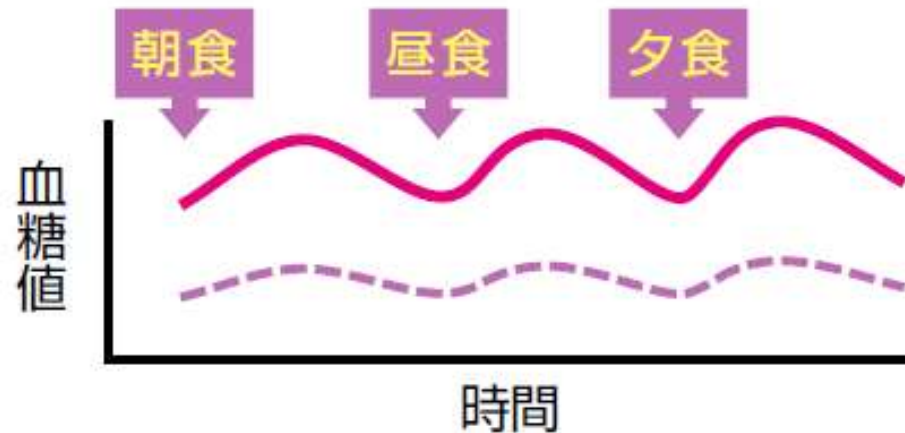


糖尿病とは

「高血糖」でひとくくりにされる症候群。
「食事」・「運動」・「薬」が治療の基軸です！

■ 糖尿病では何が起こる？

インスリンが不足したり、効きにくくなったりして血糖値が高い状態が続く



memo

インスリン

膵臓から出るホルモン。血糖値が高くなると量が増え、筋肉や肝臓が糖を取り込む量を増やして血糖値を下げます。



食物からの糖質摂取

(デンプン, スクロース, グルコースなど)

消化酵素

単糖

小腸吸収

インスリンの
量や作用の
不足が主因

この原因と程度が
1人ひとり違うから
必要とする治療が
違うのです

グリコーゲン

グリコーゲン
合成系

グリコーゲン
分解系

グルコース6-リン酸

グルコース

ほかの単糖類

血糖として全身へ

肝臓にて糖代謝

単糖は特異的ヘキソキナーゼ
によりリン酸化を受ける

過剰時

糖新生

肝・腎

~~解糖系~~

細胞質内

TCA回路

ミトコンドリア内

「インスリンの分泌不足や作用低下
という体質をお持ちの方が
運動不足であるにもかかわらず
エネルギーを過剰に摂取すると
高い確率で糖尿病になります。」

「糖尿病になる人」が
「食べ過ぎ」とは限らない！

「甘いもの」だけが
糖尿病の原因
とは言えない



「インスリン分泌能」と「インスリン抵抗性」がカギ！

**「糖尿病のお薬は
ご病気の原因と状態を見極めて
種類や量を決定します。
容態によってお薬の種類や量が
減ることもあるのです。」**

**病歴・家族歴や
血液検査の結果
をふまえて
総合的に判断**



① 病気の原因と状態を診断

- 糖尿病の「病型」を診断する: 1型・2型・その他等の判断
- 糖尿病の「病態」を診断する: インスリンの量と作用の評価
- 全身の状態を診断する: 糖尿病以外の病気や機能を評価



② 治療目標・治療内容の設定と共有

- 病気の原因と状態に合わせた治療目標を設定
- 目標を達成できる治療内容を検討
- 治療内容を患者さんと医療スタッフの間で共有



③ 個別化と最適化

- 仕事、家族構成、嗜好(しこう)などの情報収集
- 一人ひとりの人生の歩み・価値観に寄り添う最適化

糖尿病患者を支えるチーム医療

患者さんもチーム医療の構成員



医師

内科（一般内科，糖尿病内科，腎臓内科，循環器内科，神経内科など），眼科，皮膚科，形成外科，整形外科，歯科，リハビリテーション科など

医師以外の医療スタッフ

看護師，薬剤師，管理栄養士，臨床検査技師，理学療法士，ソーシャルワーカーなど

論文データを解釈する際の注意点

- ◆ 臨床試験は、一般的に通常診療とは異なる手厚い監視(サポート)体制下で実施。
- ◆ 臨床試験ごとに設定される適格基準と除外基準に適合する患者像は、通常診療の平均的な患者像と、必ずしも一致しない。
- ◆ 成長期の小児，糖尿病合併妊娠症例，高齢者にはなじまない。
- ◆ 相対的な蛋白質・脂質の過剰摂取に陥るケースもある。

「糖尿病との付き合いに悩んだり
血糖コントロールに苦労している...
そんな時こそ**基本に忠実な歩み**で
信頼できる情報を大切にして
治療を続けましょう。」



月刊 糖尿病ライフ

さ ぞ ぞ

SAKAE



編集・発行：公益社団法人日本糖尿病協会／毎月15日発行／A4変形版／定価540円（税込）

患者さんも医療スタッフの方も、
あなたのさがしていた情報がきっと見つかる
「糖尿病専門雑誌」です！

日本糖尿病協会
ご入会で毎月無料で
お読みいただけます

**糖尿病協会の会員さんに毎月配布される
最も信頼できる患者さん向け・市民向け情報誌**

新しい全国キャンペーン！ 「みんなで糖尿病を変えていこう」

- ◆ 社会的偏見による差別を、欧米では「スティグマ(stigma)」と呼ぶ。
- ◆ 特定の属性に対して刻まれる負の烙印を意味するギリシャ語に由来する言葉。
- ◆ このスティグマを取り除くためには…
 - ➡ 私たち1人ひとりが糖尿病を正しく理解
 - ➡ その理解を仲間に広める
 - ➡ 社会全体を変えていく